

ながさき健味んメニュー多分野連携事業 実施要領

1. 目的

当県では、県民の健康寿命の延伸をめざして、特に「運動・食事・禁煙・健診」に焦点をあてて取組をすすめているところである。このうち食を通じた取組では、個人ごとの良好な食生活の営みに加え、健康に関心の薄い者も含む幅広い者に対するアプローチが重要となる。

特に本県では野菜摂取量の不足と塩分摂取量の過多が課題となっている他、中食利用者の増加も見られる。当事業では、このような状況を踏まえ県民が中食を選択する機会が自然に野菜摂取と減塩につながる機会となるよう食環境の整備をすすめることを目的とする。

2. 実施期間

令和6年4月から令和7年3月まで

3. 実施方法

1) ながさき健味んメニュー多分野連携会議の開催

県内の中食提供に関係する事業者（コンビニ、スーパー）や有識者（県栄養士会）、若い世代の者（新社会人、大学生）が集まり、中食を活用した減塩・野菜摂取量増加を目的とした啓発方法について、検討する（年3回程度）。

啓発方法の1つとして、ながさき健味んメニューの基準を活用した弁当の開発・販売等を実施すること、各関係者の立場に応じた啓発（チラシ・POP等による）を実施することを目標とする。

2) ながさき健味んメニュー（中食版）レシピの開発

「ながさき健味んメニュー」は、本県の食の課題の解決と健康増進を目的とした食事の基準として設定したものである。中食としての弁当購入の機会を減塩や野菜摂取量増加のための啓発に繋げることを目標として、ながさき健味んメニューの基準に沿った弁当用のレシピを開発し、スーパー等の弁当販売事業者へ提案する（6月下旬頃）。

3) 減塩・野菜摂取増加啓発のキャンペーン

ターゲットを「歩こーで！」アプリを利用する働き盛り・子育て世代（20～50代）とし、中食利用者向けに、ながさき健味んメニューの基準に沿った弁当の販売とチラシ・POP等による啓発を目的としてキャンペーンを行う（11月頃）。

4. その他

ながさき健康づくりアプリ「歩こーで！」の活用によるアンケート等により、県民の中食に関する状況等について確認する。